

## 聖マリアヘルスケアセンターを過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリアヘルスケアセンターでは、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、ご自分の診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合、また、研究について詳細にお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データからあなたの情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	回復期リハビリテーション病棟における脳卒中テント下病変患者の浴槽移乗動作の自立度に影響する因子の検討			
② 実施予定期間	研究倫理審査委員会承認後～2022年2月28日			
③ 対象患者	2015年6月から2020年8月に当院回復期リハビリテーション病棟を退院した脳卒中テント下病変患者のうち発症前独歩自立、年齢60歳以上、Brunnstrom Stage VIもしくは麻痺なし、MMSE26点以上で退院時屋内独歩自立した患者さん。			
④ 対象期間	2015年6月1日～2020年8月31日			
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会 聖マリアヘルスケアセンター			
⑥ 対象診療科	リハビリテーション科			
⑦ 研究責任者	氏名	大畔正太郎	所属	聖マリアヘルスケアセンター リハビリテーション室
⑧ 使用する資料等	診療録より年齢、在院日数、Brunnstrom Stage、入・退院時Mini-Mental State Examination(MMSE)、Trail Making Test (TMT) -partA・B、Scale for the assessment and rating of ataxia (SARA)、Berg Balance Scale (BBS)、退院時浴槽移乗能力を調査します。			
⑨ 研究の概要	脳卒中テント下病変患者の課題遂行や日常生活動作の獲得に難渋する経験は少ない。今回、脳卒中テント下病変患者の浴槽移乗に影響する因子について検討します。			
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑪ 結果の公表	得られた研究結果については、学会で発表予定です。			
⑫ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。			
⑬ 知的財産権	聖マリアヘルスケアセンターに属します			
⑭ 研究の資金源	特にありません			
⑮ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません			
⑯ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリアヘルスケアセンターリハビリテーション室 大畔正太郎			
	電話	0942-35-5522		